

医療機関における携帯電話の利用環境整備の在り方に関する作業班 開催要綱

1 目的

今日、電波の利用は国民生活の隅々まで行き渡り、日常生活に不可欠なものになっており、特に広範な利用エリアを有する携帯電話は、災害時や非常時における通信手段として重要な役割を果たしている。

これまで、医療施設内においては、建物による遮へい性が高いことに加え、携帯電話から発射される電波による医療機器への影響が懸念されることなどから、電波の利用に制約が生じることが多かった。

しかし、社会動向の変化や、災害の発生時等を想定し、電波利用への一定の配慮を要する医療機関においても、携帯電話の利用ニーズが高まっている。

このような携帯電話の利用ニーズの一層の高まりを受け、医療機関における携帯電話の利用環境整備について新たな方針を明確化することを目的として、本作業班を開催する。

2 名称

本作業班の名称は、「医療機関における携帯電話の利用環境整備の在り方に関する作業班」とする。

3 主な検討事項

医療機関における携帯電話の利用環境整備に関する方針
等

4 構成及び運営

- (1) 本作業班は、「医療機関における携帯電話の利用環境整備検討会」の下に設置する。
- (2) 本作業班の構成員は別紙のとおりとする。
- (3) 本作業班には主任を置く。
- (4) 主任は、本作業班を招集し、主宰する。
- (5) 本作業班は、必要に応じ、外部の関係者の出席を求め、意見を聞くことができる。
- (6) その他、本作業班の運営に必要な事項は、主任が定めるところによる。

5 その他

本作業班の庶務は、総務省総合通信基盤局電波部電波環境課が行う。

医療機関における携帯電話の利用環境整備の在り方に関する作業班
構成員名簿

(敬称略)

	いしがみ 石上	しのぶ 忍	東北学院大学工学部 情報基盤工学科 教授
(主任)	かのう 加納	たかし 隆	滋慶医療科学大学院大学 教授/ 電波環境協議会 医療機関における電波利用推進委員長
	かわにし 川西	なおき 直毅	KDDI株式会社 技術企画本部 電波部長
	こうの 河野	まこと 誠	公益社団法人移動通信基盤整備協会 設備推進1部 部長
	たけだ 竹田	まなぶ 学	ソフトバンク株式会社 周波数利用推進部 担当部長
	のじま 野島	としお 俊雄	北海道大学 名誉教授
	ほし 星	かつあき 克明	電波産業会/電波環境協議会 事務局
	まきの 牧野	さとし 聡	株式会社NTTドコモ 電波部長
	まつもと 松本 けんたろう 健太郎		楽天モバイル株式会社 渉外部 マネージャー

(注) 必要に応じて、その他の関係省庁、団体等に参加を要請することがある。